７月14日
パリ祭がおこなわれフランス中がトリコロールに染まる



14日（日）、フランス共和国の成立を祝う式典「パリ祭（Le 14 Juillet／Fête nationale française）」が行われ、シャンゼリゼ大通り（Avenue des Champs-Élysées）では、フランス軍によるパレードが盛大に行われました。

パリ祭

パリ祭は、1789年７月14日に起こった、後にフランス革命（Révolution française）のきっかけとなるバスティーユ監獄襲撃事件（Prise de la Bastille）を記念して、１年後の1790年の７月14日に行われた連盟祭（Fête de la

Fédération）が起源になっています。

日本では1933年の映画「Quatorze Juillet」の邦題「巴里祭」がそのまま残ったため、現在でも「パリ祭」と呼ばれていますが、この様に呼んでいるのは日本のみで、フランスでは、「Le Quatorze Juillet（７月14日）」、英語圏では「Bastille day」と呼ばれています。

今年は、フランス革命のきっかけとなったバスティーユ牢獄襲撃事件から230年にあたります。

軍事パレード

パリ祭で一番華やかなのが、コンコルド広場（Place de la Concorde）と凱旋門（Arc de triomphe）を結ぶシャンゼリゼ大通りで行われる軍事パレードです。

196台の軍用車の車列、憲兵隊の騎馬兵が237騎、40機のヘリコプター、総勢4299名が凱旋門からコンコルド広場まで行進しました。

ヨーロッパの連帯を強く演出

今年の式典は、フランスだけではなくヨーロッパの連帯を象徴する演出が行われたのが特徴です。シャンゼリゼ大通り上を飛ぶフランス空軍のアクロバット飛行隊（la Patrouille de France）と共に、スペイン軍とドイツ軍の軍用機、イギリス軍のヘリコプターが飛行しました。

ホバーボードが軍事技術として登場

また、フランス軍が開発している軍事技術一つである、空中を自由に浮遊して移動することのできる、ホバーボードが登場し話題となりました。

> #14Juillet
> French elite acrobatic flying team "Patrouille de France" performs a flying display over Paris during the #BastilleDay parade
>
> @philippe_lopez

@ZakriaAbdelkafi
@BonaventureLio #AFP pic.twitter.com/5BVF8aXxsO

— AFP Photo (@AFPphoto) July 14, 2019

コンコルド広場でフランス国歌「ラ・マルセイエーズ」

式典の最後はコンコルド広場で、フランス国歌「ラ・マルセイエーズ（La Marseillaise）」の合唱が行われました。

エッフェル塔で花火

同日夜、フランス各地でパリ祭を祝う花火が打ち上げられました。

パリでは、23時からエッフェル塔（La Tour Eiffel）で花火がおよそ30分にわたって打ち上げられ、パリの夜空を明るく照らしました。各地でコンサートやダンスパーティなどの様々なイベントが行われ、フランス中がお祭りモードに染まりました。

日本各地でもパリ祭が祝われる

日本でも、フランス政府が管理するフランス文化センター、アンスティチュ・フランセ日本（Institut français du Japon）などが、７月10日（水）から17日（火）までの間、東京や大阪、名古屋などでパリ祭に関するイベントなどを行っています。

執筆：Daisuke

オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師による
マンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。
いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた
質の高いレッスンが好評です。

